

「多摩川の歌」の合唱講座と、 ダニエル・カールさん講演のタベ

あなたも参加しませんか

多摩川の美しい自然を守り、次世代に引き継ごうと生まれた「多摩川の歌」(作詞・谷川俊太郎 作曲・寺嶋陸也)を多摩地域の人々と歌い交わし、この作品の魅力をひとりでも多くの人々に伝えていきましょう。

「美しい多摩川フォーラム」の副会長でもあるダニエル・カールさん(テレビなどでおなじみの山形弁研究家)の講演を通して、あらためて自然との共存や地域起こしを考える機会にしましょう。

日時 2010年7月10日(土) 14:00～18:30

会場 八王子カレッジタウン(合唱講座)
八王子ホテルニューグランド(講演)

(両会場とも JR 八王子駅又は京王線八王子駅より徒歩 15分～17分)

参加費 1000円

(合唱のみ・講演会のみでも同一料金です)

定員 先着 200 名

(定員になり次第〆切ります)



ダニエル・カール

当日の予定

14:00	受付開始(カレッジタウン地下)
14:30	開会
	発声・パート練習・合唱練習
16:30	移動お隣のニューグランドへ
17:00	ダニエル・カールさんの講演
18:30	閉会

合唱指導 杉森俊幸 峯崎りみ
ピアノ伴奏 峯崎道子 上村明子

高校時代、交換留学生として奈良県智弁学園に1年間在日。大学生時代、大阪の関西外国語大学に4ヶ月間学び、その後、京都二尊院に2ヶ月間ホームステイ、佐渡島で4ヶ月間、文楽人形づかいの弟子入りをした。

大学卒業後、日本に戻り文部省英語指導主事助手として山形県に赴任し、3年間英語教育に従事。

現在は東京に居を置き、翻訳・通訳サービス会社を経営する社長を務める。英語、ドイツ語、山形弁を操り、豊富な知識とサービス精神を生かして、レポーターやコメンテーターなどメディアでもマルチな活躍を続けている。

主催 三多摩青年合唱団 / 三多摩うたごえ協議会
後援 「美しい多摩川フォーラム」



連絡先 東京都国立市中 1-15-2 向陽ビル B1
042-573-0437 (三多摩青年合唱団)
042-573-1590 (箱崎)

メール sansei@sansei3.com
s_hakozaki@hotmail.co.jp

申込用紙

お名前 _____ TEL _____

連絡先 _____

- ☐ 合唱・講演会に参加します。 パート・ソプラノ アルト テノール バス
- ☐ 合唱に参加します
- ☐ 講演会に参加します

会費を添えて申し込みます

領収書

多摩川のうた

会費 1000円

受領しました

担当者名

多摩川の歌 昭島で披露

「多摩川の歌」を披露するメソッド・ダンスの保多さん
さん(中央)と左の後ろに立つ「多摩川」を詠ったメソッド・ダンスのメンバー
バー(昭島市立昭島町の「フォレスト・イン・昭島」で)



多くの人に親しまれる 詩人の谷川俊太郎さん
多摩川を詠った「多摩川」作曲はピアニストの
川崎の歌が完成し、昭島 寺嶋隆也さんと、多摩川
市で8日間続いた「多摩川」の流れるやまめきを想起
する多摩川「フォーラム」のささる優雅な曲調。歌作
総会で披露された。作詞に携わった歌手の保多

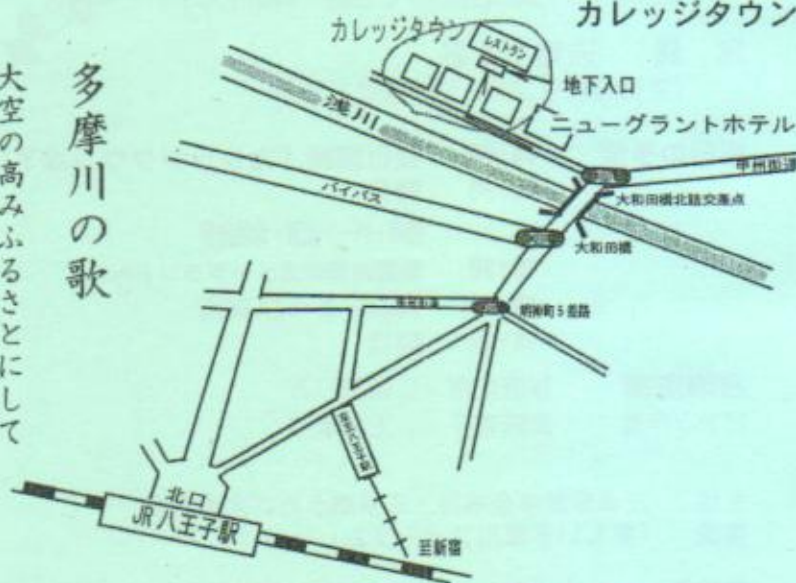
「100年歌い続けられる曲に」

作詞・谷川さん 作曲・寺嶋さん 歌手・保多さん

由子さんは「100年歌
い続けられる、素晴らしい
曲ができた」と喜んで
いる。
歌は「大空の高みふる
さとして」で始まる。
「多摩川の歌」のよう
に次世代にも歌い継がれ
る歌を目指し、約4年掛
けて完成した。
この日、歌を披露した
保多さんは「歌は歌う
ほど好きになる」。寺嶋
さんは曲作りのために多
摩川沿いを歩き回ったと
いい、「目の前にある川
から、未来や過去、遠く
の世界を想像できるもの
にしたかった。できるだ
け多くの人に知ってもら
いたい」と話している。
谷川さんは「多摩川を
自然現象としての外なる
川と同時に、人間の内面
にひそむ内なる川として
考えるきっかけとなるこ
とを願います」というコ
メントを寄せた。

【池田知広】

カレッジタウン地区



多摩川の歌

大空の高みふるさとして
霧はまき露は地にしみ
大地の深みをみなもとにして
せせらぎは生まれ広がる
進み流れて止まぬ
多摩川はきらめくいのち
水辺の桜に夢を託して
集う人遊ぶ子どもら
人々の心ゆるくむすんで
水青く森は緑に
渦巻いて湛えて深く
多摩川ははぐくむいのち

谷川俊太郎

住 所 八王子市大和田町6-1-12
行き方 JR 八王子駅より徒歩 17 分大和田橋を渡り
土手沿いを歩くニューグランドホテルの
となり号棟の間を通り地下入口に入る